

News Letter

ニュースレター

2019.3 vol.112



いろいろな金山 / 1, 4, 14 アスナル金山 2 カナヤマギンザ 3 線路沿いの桜並木 5 金山神社 6, 7, 9 金山南ビル 8 間之森八幡社 10, 11, 13 金山総合駅
12 名古屋音楽プラザ

特集◎ 金山 総合駅誕生から30年を迎えるまちの未来

まちづくり支援

まちづくり活動助成 平成30年度まちづくり活動紹介

まちづくり来ぶらり

妙安寺(沢の観音) 名古屋市熱田区

金山 総合駅誕生から30年を迎えるまちの未来



金山南ビル/20周年を迎える地区のシンボル。南ビルと金山駅をつなぐ南口広場では定期的にマルシェが開催されている。

総合駅の誕生

名古屋駅に次ぐ広域交通拠点である金山。市営地下鉄、名鉄、JRが乗り入れる金山総合駅は、乗り換えの便利さ、鉄道路線の豊富さで、その乗降客数は一日におよそ46万人にのぼります。こうした総合駅を核とするまちの姿は、実は約60年前、戦後間もない1946年にすでに戦災復興計画で描かれたものでした。

当時、金山には、まだ名鉄金山橋駅

(1944年開業)しかなかったのですが、戦災復興計画では「副都心」と位置付けられ、駅前広場を北口、南口に設置すること、駅構内に国鉄東海道線、中央線、名鉄及び高速鉄道(地下鉄)のホームを設置するといった内容が構想され、以降、長く続く関係機関との協議が始まりました。

転機は、世界デザイン博の開催決定でした。金山が名古屋港や白鳥会場への集客拠点とされたことにより、名鉄金山橋駅の移転、JR中央線に並ん

で東海道線の駅ホーム新設と、長年にわたる事業が一気に動き出し、1989年7月、悲願の総合駅化が実現しました。

「金山」が変わった

金山のまちづくりにとって総合駅化はゴールではありません。これを弾みに、戦災復興事業のなかで確保してきた用地を活用し、まちの活性化につなげるのが目標です。そこで着手したのが南口の開発。その先導的プロジェクトが金山南ビルでした。美術館、ホテル、都市センター等で構成され、地区に華やかさと憩いの空間を創出することをテーマに開発提案競技を実施。最優秀提案による高層ビルは、1999年3月、地区のシンボル、名古屋の南のランドマークとして完成しました。

さらに2005年「愛・地球博」の開催が決定し、中部新国際空港が開港されることになると、空港へのアクセス



1980年代前半の金山駅の様子。手前の平面駐車場は、現在のアスナル金山がある場所。



空から見た金山総合駅

金山 総合駅誕生から30年を迎えるまちの未来



拠点となる金山の役割は高まり、さらなるにぎわいづくりが求められました。そこで交流の場として整備されたのが総合駅北口の「アスナル金山」です。アスナル金山は、広場と商業施設が一体となったオープンモール。総合駅から周辺地域へ行き交う人々が、金山のにぎわいを印象付けることとなりました。

金山の個性を活かす道は――

週末ともなれば、南口広場のマルシェや、アスナル金山のイベントに多くの人が集います。金山総合駅化から30年、シンボルの金山南ビル完成から20年、まちは着実に変わりました。

「パチンコ、カラオケ、ゲームセンター、周りはそんなふうになっていったね。今はにぎやかになったけど昔からの店がなくなったのはさびしいね」と言うのは犬飼克彦さん。40年前から駅前で寿司店を営んでいます。「もっと金山の個性を出さないと、ただ人の多いだけのまちになってしまう。これからの問題」と言うのは、金山商店街のまちづくりにもかかわる井澤知且さん（名古屋学院大学教授）。そのためには地域の人たちの力が不可欠で、そこが弱いと危惧します。名古屋市も、金山総合駅周辺のさらなるにぎわい創出に向けて、平成29年3月に「金山駅周辺まちづくり構想」を策定し、現在は地区整備の具体的な検討を行っています。

「金山のまちづくりは、戦災復興事

業のもと名古屋市が果たしてきた役割が大きい。しかしこれからは住民が活躍する番。栄とも、名駅ともちがう金山の個性を生かしたまちづくりのビジョンを名古屋市とともにつくり上げてほしい」と井澤さんは言います。



菊寿司の犬飼克彦さん。昔ながらの店構えに魅かれて外国人客もやって来る。



金山総合駅連絡通路橋／名鉄、JR金山駅の接続と南北の横断を目的に整備。幅員約20m、延長約90m、歩いているとわからないが線路をまたぐ横断橋。広い空間を印象付けるトラス構造の屋根が特徴。



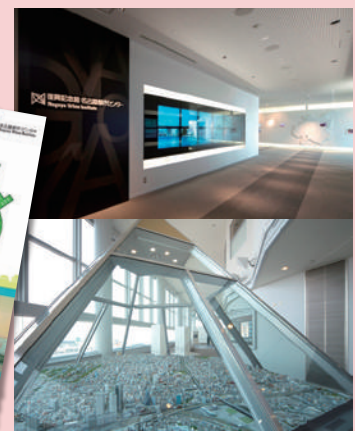
アスナル金山／総合駅北の道路、バス施設、駐車場等を再編整備した「交通ターミナル機能」と「交流の場」を整備。「明日なる!広場」では年間700回を超えるイベントが開催される。



金山エリアでまちづくり活動を行うNPO法人。アスナル金山と金山南ビルでアートと写真のイベントを開催。

金山南ビルに開設して20周年の名古屋都市センター

戦後復興土地区画整理事業の収束を記念して1991年に設立された名古屋都市センター。金山南ビルが完成した際に、名古屋都市センターもこのビルへ移り、2019年3月で20年を迎えました。まちづくりのシンクタンクとして、また、まちづくりに関わる人材の育成や交流の拠点として、たくさんの方が訪れる施設となりました。3月には11階まちづくり広場の展示をリニューアル。また、名古屋のまちづくりに関する小学生向けワークブックを作成しました。今後も、より一層名古屋のまちづくりに貢献していきます。





～住みやすく、魅力的なまちをつくる「まちづくり活動助成」～

名古屋都市センターでは、市民の皆様や企業などからの寄附による「まちづくり基金」を活用して、市民のまちづくりを応援するため「まちづくり活動助成」を実施しています。

平成30年度に行われた団体の活動をご紹介します。

まち“夢”工事部門

地域に必要な「施設」を自分たちで作る工事と、それらを活用して行う活動に助成します。

スタートアップ部門

活動初期の団体やグループが、「地域のまちづくり団体」へ成長していくことを期待して、まちを良くする身近な活動に助成します。

まち“夢”工事部門

コガネヨシヨシビルディング
黄金4422BLDG.

代表 浅井信好さん

活動地域:中村区長戸井町

アーティストビル 「黄金4422BLDG.」の経緯

住宅地の中に残された縫製工場。機器や布もそのままになっていた建物を借り受けた浅井信好さんは、35か国150都市以上で公演を行ってきた世界的な舞踏家。自ら率いる劇団「月灯りの移動劇場」の拠点、次世代のアーティスト育成の場を名古屋につくることが目標でした。

まずはゴミの山を片付け、アートビルとして生まれ変わらせるため、連携する大学の建築学科の学生たちと設計とデザインを検討。

DIYによるリノベーション工事を重ね、ダンススタジオ、劇場、ギャラリー、ワークショップスペースからなるアーティストプラットフォーム「黄金4422BLDG.」は2018年2月に誕生しました。

地域とつながるために、 まち“夢”工事を実施

ビルのある中村区長戸井町は、65歳以上の高齢者が多く住む静かな地域であり、イベント開催時には、ダンスやアートが好きな若い人たちが外から大勢訪れるとともに、劇場やスタジオでは音も出るため、浅井さんは、近隣への挨拶や困りごとのお手伝いをするなど、地域に溶け込む努

力を続けていました。

町内会の会合をきっかけに、「地域の人々にも愛される施設にしたい」と考えた浅井さんは、まちづくり活動助成に応募。その思いが届き助成の決定を受け、音漏れ対策のための壁を立ち上げ、賑やかな絵を描き、街路灯の代わりとなる照明を取り付け、交流の場となる「屋外コミュニティスペース」が2019年1月に完成しました。

「黄金4422ビルディングができて、地域が明るく元気になった」と言ってもらえるように開催したイベント「からだにいいこと～健康体操&ヘルシーピザの会～」では、地域の人にもうれしい健康体操のプログラムと、自主制作したこだわりのピザ窯でピザを自らが焼き、参加した地域の人たち、学生、アーティストと、にぎやかに交流が図られました。

所在地:中村区長戸井町4丁目38番地(アクセス:近鉄黄金駅より徒歩5分) Facebookページ:<https://www.facebook.com/Kogane4422/>



1



2



4



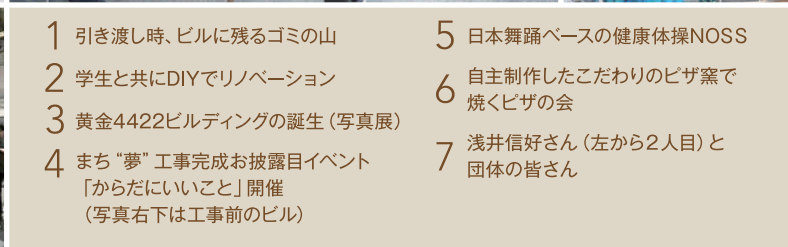
5



6



3



7

1 引き渡し時、ビルに残るゴミの山

2 学生と共にDIYでリノベーション

3 黄金4422ビルディングの誕生(写真展)

4 まち“夢”工事完成お披露目イベント

「からだにいいこと」開催
(写真右下は工事前のビル)

5 日本舞踊ベースの健康体操NOSS

6 自主制作したこだわりのピザ窯で
焼くピザの会

7 浅井信好さん(左から2人目)と
団体の皆さん



スタートアップ部門

オオモン

大門まちづくり友の会

代表 加納栄志さん

活動地域:中村区大門



創業80年の「呉服店」の3代目で「新大門商店街振興組合」の理事長も務める、代表の加納栄志さんに、活動について聞いてみました。

Q:活動を始めて感じたことや、良かったことは？

加納:活動して改めて自分のまちの魅力、まちへの想いを感じることができたこと、活動を通じて志が同じ仲間が増え、新しいご縁を頂けたことです。

Q:今後、どんなふうに活動し「大門のまち」を良くしていきたいとお考えですか？

加納:私たちの活動は、歴史施設や街並みをPRする観光地的な「魅力の発信」からスタートしました。しかし、魅力ある歴史的資源も再開発でマンションとなり、新住民が増えていくなかで、人情があふれるこのまちの良さを失わず「住んでいる人が一番魅力を感じられるまち」になるように活動していきたいと思っています。

中村区大門の魅力を発信

昭和の風情が残るまちの魅力をPRするために、「インスタフォトコンテスト!」と、大門の達人(地元の住民や商店主)と一緒に路地裏の界隈を夕暮れから巡る、ディープな街のオトナのまち歩き「夜の大門魅惑のナイトツアー」を開催しました。



フォトコンテスト最優秀作品



ナイトツアーのスタート 大門横丁



達人特選スポット 瑞龍山白王寺(中村観音)



Facebookページ:<https://www.facebook.com/omontomonokai/>

スタートアップ部門の活動団体の皆さん



植田東学区連絡協議会 環境部会
活動地域:天白区植田東学区

地域の環境問題を考える「環境部会」を有志で立上げ、木々が生い茂り暗くなった歩道を改善して、住民がより暮らしやすい街になるように清掃活動や会報誌の発行を行いました。

WEB サイト: <http://uedahigashi.doorblog.jp/>



Varifran (ヴァーリフラン)
活動地域:名古屋市内(開催は西区)

小学校でのプログラミング授業の実施が検討される中で、地域の大人が子どもをサポートできるように、子どもから大人まで一緒に学べるプログラミングの体験講座や、数学を楽しく考えるワークショップ等を開催しました。

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/Vfoomt/>



ほっこり公園
活動地域:中区堀川沿い
「みのりの広場」

「いごこちの良い空間」が人を集め、にぎわいをつくりだすように、堀川沿いの「みのりの広場」で、ユニークな出展者が集う「ほっこり公園(マルシェ)」を、第2土曜日を基本として定期開催しました。

WEB サイト: <http://hokkori-koen.com/>



水辺とまちの入口研究所
活動地域:中区堀川周辺

「堀川らしいって何だろう?堀川らしい風景を作り出している構成要素を集めてみよう」をテーマに研究。その成果を「かわ・まち・川縁から見つける堀川らしい風景を語りあう会」で発表し、堀川ギャラリーでパネル展示会と制作した冊子の配布をしました。

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/mizumachiken/>

妙安寺(沢の観音) 名古屋市熱田区 新尾頭2丁目2-19

妙安寺(みょうあんじ)は元和年間(1615~24)年に政秀寺(せいしゅうじ)二世雪巖の弟子宗俊によって開山された臨済宗妙心寺の末寺です。妙安寺の山号は富春山といいます。もとは海部郡助光村(現在の中川区)にありましたが、寛文9(1669)年に富商織田久佐衛門正直が政秀寺江天に相談し熱田に場所を移し、現在の寺号・山号となりました。寺の名前の妙安は正直の妻の法名と伝わっています。

高蔵の東北にあった「沢の観音」は妙安寺境内に移され、妙安寺も俗に「沢の観音」と言われるようになりました。沢の観音は東南の宮谷観音、西南の夢違観音、鷲峯山(だんぶさん)観音とともに「熱田四観音」と呼ばれています。

境内には延宝5(1677)年に建てられた観音堂(宝永8(1711)年に再建)や山門のほか、松尾芭蕉・井上士朗・岳輅(がくろ)らの句碑があります。道祖神が祭られた弁天堂は本堂の左にありましたが、元禄4(1691)年に熱田神宮一の鳥居の旧地に移りました。

妙安寺の西側には堀川が流れ、眺望がよいことから名古屋三景の一つに数えられ、多くの人が足を運びました。『尾張名所図会』にも「沢の観音の眺望」として載っています。



句碑(岳輅)



句碑(芭蕉)

◆参考文献◆

さらに詳しく知りたい方は、こちら

『名古屋市史 社寺編』名古屋市役所 (Sc-ナ)

『名古屋市 熱田区誌』熱田区制五十周年記念誌編集部会／編 (2B21-87)

『名古屋の史跡と文化財(新訂版)』名古屋市教育委員会／編 (Sc-ナ)

『史跡あつた』熱田研究よもぎの会／編 (Sc-7)

『名古屋南部史』名古屋南部史刊行会／編 (Sc-ナ)

『尾張名所図会 前編4』岡田啓／著 (Sc-7)

※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。

まちづくりライブラリー

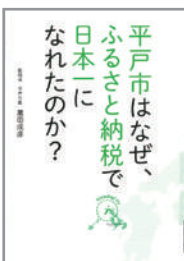
全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料や研究機関の調査研究報告書なども収集しています。

図書紹介

『平戸市はなぜ、ふるさと納税で日本一になれたのか?』

著者：黒田成彦
出版社：KADOKAWA
請求記号：Rb-ク

過疎化が進む長崎市の最西端に位置する平戸市は、2016年から始まったふるさと納税導入の大成で脚光を浴びました。ふるさと納税が全国1位になったことでメディアで紹介されるようになったのです。熱い情熱を持つ若き職員の奮闘など、平戸市の成功を市長が軽妙な語りで振り返ります。



『評伝ロバート・モーゼス 世界都市ニューヨークの創造主(マスタービルダー)』

著者：渡邊泰彦
出版社：鹿島出版会
請求記号：Bd-7

ニューヨークのマスタービルダー(創造主)とまで呼ばれたロバート・モーゼスでしたが、彼の業績は、ダウンタウンに住む主婦活動家ジェイン・ジェイコブズの登場で風向きが変わります。強引なまちづくりでモーゼスを悪とする風潮がありますが、本当にそうでしょうか。モーゼスの生涯と業績をたどります。



『藤森照信の建築探偵放浪記 風の向くまま気の向くまま』

著者：藤森照信
出版社：経済調査会
請求記号：ld-7

インスタ映えするということで人気の多治見市のモザイクタイルミュージアムをデザインした藤森照信氏の建築紹介です。大学院生の時に仲間と始めた建築探偵団という試みは日本から世界に広がりました。建築史研究者ならではの視点が光る建物紹介は、知的好奇心をくすぐります。優秀な案内人とともに世界の建築巡りをしてみませんか?



1

11階まちづくり広場 常設展示コーナーのリニューアルを行いました

2019年3月、まちづくり広場の常設展示コーナーを一部リニューアルしました。

今回のリニューアルでは、名古屋都市センターのある金山周辺エリアについて、古代から現在までのまちの成り立ちを紹介するパネルや、昨年閉館となった名古屋ボストン美術館の資料コーナーを新設しています。

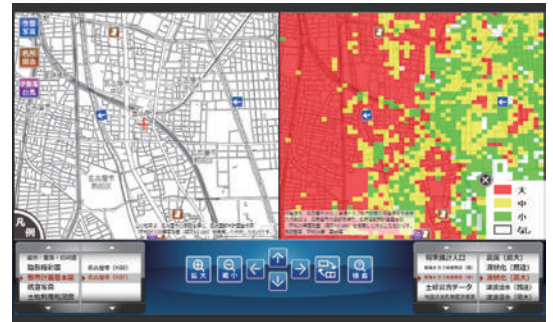
また、これまで12階まちづくりライブラリーに設置していた「まちづくり情報システム(ISM)」と都市センター所蔵の絵葉書や写真などを閲覧できるように改良し、まちづくり広場に新たに設置しました。

このシステムは、名古屋大学減災連携研究センターと名古屋都市センターが共同で開発しました。都市計画や減災関連の地図情報を、簡単な操作で分かりやすく閲覧することができますので、ぜひこのISMに触れてみてください。

※ISM: Information System for Machizukuri



空から見た名古屋(航空写真)の近くにありますが



ISMの画面イメージ

2



まちづくり活動助成 スタートアップ部門 申請団体募集のご案内

名古屋都市センターでは、「まちづくり活動をこれから始めてみたい」と思っている、または活動を始めてまもないグループや団体に対して、活動に係る経費を助成しています。対象は、地域の住みよい環境づくりにつながる「まちづくり活動」です。平成31年度は、4月から募集開始予定です。詳しくは名古屋都市センターホームページ「まちづくり活動助成」のページをご覧ください。

(平成30年度の助成団体や活動の様子は、P3~4をご覧ください)

3

アーバン・アドバンス71号を 発行します

アーバン・アドバンスは、まちづくりに携わる広範囲な人々の寄稿、名古屋都市センターの研究成果、名古屋のまちづくり情報などを掲載しています。

71号(2019年3月発行予定)のテーマは「交流拠点の新たなかたち」です。人口減少・少子高齢化による都市活力の低下、また、情報通信技術の高度化やSNS等が普及する

中、Face to Faceのコミュニケーションの価値が再認識されています。そのようななかで、地域や世代間、異業種間における交流拠点、活動拠点のあり方に新たな視点が求められており、それに対処すべく各地で増えている様々な取り組みについて特集します。



【特集】交流拠点の新たなかたち(タイトルは予定)

サードプレイスと都市との関係
白鷗大学 小笠原 伸

多世代交流施設「グルッポふじとう」について
高蔵寺まちづくり株式会社 石川 勇三

地方創生とコンパクトシティ推進に向けた「街ナカ」拠点づくり
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社 地域活性化推進室

地域自治の拠点としての図書館の役割
株式会社マナビノタネ 森田 秀之

使い手の能動性を引き上げる地域の交差点 喫茶ランドリー
株式会社グランドレベル 田中 元子

※アーバン・アドバンスは12階まちづくりライブラリーにて、販売(700円)しています。

～メインが選べる人気のランチ～ エスポワール ¥3,000

30Fスカイレストラン「スターゲイト」
●ランチ 11:30a.m.～2:30p.m.(土・日・祝 11:00a.m.～)
●ディナー 5:00p.m.～9:30p.m.(L.O.8:30p.m.)

※写真はイメージです。※税金・サービス料込。



ANA
CROWNE PLAZA
HOTEL GRAND COURT NAGOYA

〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1 www.anacrownplaza-nagoya.jp

ご予約・お問い合わせ Tel.052-683-4702 (スターゲイト直通)

昔 今

高蔵宮

高座さんで祈る
子供たちの無病息災

「高座(たかくら)さん」と親しまれているこのお社は、正式には高座結御子神社(たかくらむすびみこじんじや)(熱田区高蔵町)といい、社の名は祭神である高倉下命(たかくらじのみこと)から由来するものと思われます。熱田神宮と同じ頃に創祀(諸説あり)された古社で『続日本後紀』(836年)や延喜式(927年)に社の名が記されています。

子育ての神として信仰が篤く、4月3日には生まれた子が15歳まで無病息災に過ごせるように、名前や住所などを書いた紙を神社に預け、神様に守ってもらう幼児成育祈願祭が行われます。6月1日の例祭には境内末社の御井社(みいしゃ)の前にある井戸を幼児にのぞかせると「疳(かん)の虫封じ」※になるといわれる「高座の井戸のぞき」が行われ、多くの子供連れで賑わいます。

境内や周辺に弥生時代の集落跡や貝塚、古墳などがあり、古くから人々が暮らしていたことがうかがうことができます。これらは1908年、大津通の工事で土器が出土したことを聞いた陸軍幼年学校教官鍵谷徳三郎が発掘調査を行い、「考古界」などに発表したことで全国に知られるようになりました。2018年11月に高蔵遺跡第60次発掘調査現地説明会が行われ高蔵7号墳の石室などが公開されるなど、現在も発掘調査が続けられています。

※「疳(かん)の虫封じ」古く幼児の夜泣き、かんしゃく、ひきつけなどは「疳の虫」が原因と考えられていた。



※上の絵は、原本を一部加工、着色しています。



高座結御子神社(たかくらむすびみこじんじや)拝殿



「疳(かん)の虫封じ」の井戸



発掘調査現地説明会の様子

〈参考文献〉

- 『明治の名古屋人』名古屋市教育局委員会／編 (Se-ナ)
- 『名古屋の史跡と文化財 新訂版』名古屋市教育局委員会／編 (Se-ナ)
- 『熱田区の歴史散歩』ブックショップマイタウン／編 (Sc-フ)
- 『新修名古屋市史 資料編 考古1』名古屋市 (Sc-ナ)
- 『名古屋に街が伸びるまで』吉田富夫／著 泰文堂 (Sc-ヨ)
- 熱田神宮HP (<https://www.atsutajingu.or.jp>)

公益財団法人 名古屋まちづくり公社

名古屋都市センター Nagoya Urban Institute

〒460-0023

名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル

TEL 052-678-2208

FAX 052-678-2209

<http://www.nup.or.jp/nui/>

ISSN 1341-6820



この印刷物は再生紙を使用しています。

利用案内◎どなたでもご利用いただけます。

【11階】まちづくり広場
(展示スペース・ホール・喫茶コーナー)

火～金曜日: 10:00～18:00

土・日曜日・祝休日: 10:00～17:00

【12階】まちづくりライブラリー

火～木曜日: 10:00～18:00

金曜日: 10:00～20:00

土・日曜日・祝休日: 10:00～17:00

【休館日】

月曜日(祝休日の場合はその翌日)・年末年始

(まちづくりライブラリーは、上記のほか第4木曜日、特別整理期間も休館)

